

国際ロータリー第2730地区

# 高鍋ロータリークラブ 会報



会長 松尾正博  
 副会長 福岡直樹  
 幹事 森本直樹  
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30  
 例会場 ホテル泉屋 2F  
 事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋 1368-4  
 ホテル泉屋内 TEL/FAX 0983-21-1636

## 第1961回 平成29年2月9日プログラム

- |                       |            |
|-----------------------|------------|
| 1. 点 鐘                | 7. BOX披露   |
| 2. ロータリーソング<br>四つのテスト | 8. 各委員会報告  |
| 3. ビジター・ゲスト紹介         | 9. 外部卓話    |
| 4. 会長の時間              | 10. 次週例会案内 |
| 5. 幹事報告               | 11. 点 鐘    |
| 6. 出席報告               | 12.        |

2730 地区ガバナー 大重 勝弘

中部分区ガバナー補佐 藤堂 孝一  
 RI テーマ 『人類に奉仕するロータリー』  
 第2730地区テーマ 『ロータリーを楽しもう』  
 高鍋ロータリークラブテーマ  
 『会員の為のロータリー』

2月の月間テーマ  
 平和と紛争予防 / 紛争解決月間

## 本日の例会案内

- \* 血圧測定
- \* 会員5分間スピーチ (池部文仁君)
- \* 外部卓話=野村證券(株)宮崎支店長 金子崇徳様

## 次週例会案内; 2月16日 (1962回)

- \* 会員5分間スピーチ (長濱 博君)
- \* 外部卓話=高鍋観光ボランティアガイド会長 岩切昭一様

## 第1960回 例会内容

### ■会長の時間

本日は、1月28日(土)、1月29日(日)に行われましたライラの報告があります。九州電力より2名・黒木本店より2名参加していただきました。藤本委員長にお世話を頂きましてありがとうございました。

1月29日は、高鍋ロータリーカップミニラグビー大会が開催され、石田委員長をはじめ、15名の参加を頂き、ロータリーデーも実施いたしました。大分より2チーム、鹿児島より4チーム、県内7チーム、選手650名、ご父兄700名の参加をしていただき、第10回の記念大会も盛会のうちに無事終了いたしました。皆様のご協力ありがとうございました。

お礼と感謝を申し上げます。ありがとうございました。

### <理事会報告 2017. 2. 2>

1. 米山奨学生の世話クラブとカウンセラーの件  
カウンセラーに藤本範行君 承認
2. 高鍋ロータリークラブ明倫賞の件  
社会奉仕・職業奉仕委員会で選考にあたる 承認

### 会長 松尾正博君



3. 理事会の夜間例会の件 検討し実施する
4. 例会時、機器設置や会員BOXへの文書等配布の件  
会場での設置・配布は各委員会で行う

### ■幹事報告<文書案内>

- \* 2月のロータリーレート  
1ドル=116円
- \* 会長エレクト研修セミナー案内  
日時 平成29年3月4日~5日  
4日 12:30~20:30  
5日 8:30~12:10  
場所 シーガイアコンベンションセンター

### 幹事 森本直樹君



### ♪ 結婚記念日おめでとうございます ♪

青木善明君 甲斐英治君 曾我部幸夫君



## ☆会員5分間スピーチ

第27回全国菓子大博覧会  
お伊勢さん菓子博2017  
日本最大級のお菓子の祭典！

開催日程 2017年 4/21～5/14  
会場 三重県営サンアリーナ  
前売入場券発売中！

## 長谷川修身君



はまだ人として、社会人としての経験も少ないため、この部分についても、日々勉強、実践していき、自己の成長に繋げていきたい。

その他の活動については、他企業の方々との業務の概要や日々の業務での悩み、楽しさを聞くことができたことがとても貴重な経験になった。歳が近くても、業種が違えば、物の考え方や捉え方が違い、仕事に対する考え方も違い、学ぶことが大変多く、勉強になった。特に印象深かった方は、親の経営する会社に勤め、将来はオーナーになる方の話で、最初は楽ができるはずだったのに、今では大変だということ、自分がオーナーになった際に、従業員に方々の人生が自分の経営手腕によって、不幸にも幸せにもなるというプレッシャーの大きさが怖くもあるが、仕事をする上でのモチベーションになるというものだった。その方はしっかりと将来の「ビジョン」があり、それに向かって、日々の業務から業務だけでなく、将来のビジョンに必要なその他の情報や傾向まで取得できる様、努力されていた。私もしっかりと「ビジョン」を持ち、将来を見据えた業務のやり方、その他の情報の取得とこの方に負けない様に、努力していきたい。

最後に今回の研修を無料で受講させていただいた、ロータリアンの皆さまのご厚意に感謝するとともに、期待に応えられる様、努力していきます。

ありがとうございました。

## ☆第39回青少年指導者養成研修会(ライラ)報告

九州電力高鍋配電事業所 原 宏明様

日時：平成29年1月28日(土) 13:00～17:30  
平成29年1月29日(日) 9:00～13:00

場所：コテージ・ヒムカ

概要：国際ロータリークラブの宮崎県中部分区北部分区における青少年指導者育成プログラム。講習の講師は榎木田智子さん、テーマは「人間力」、夜は懇親会、朝はビーチクリーン活動を実施。



所感：講習では、「人間力」の向上を目的に創造的なリーダーに必要な「ビジョン」「アクション」「コミュニケーション」能力の3つの大分類に分けて学んだ。

「ビジョン」は自分の理想であり、人間は理想(どうなりたいか?)を持たないと、絶対に理想には近づけない。これは化学的に証明されている人間の仕組みということを学んだ。

「アクション」は人それぞれが持つ「思考傾向」を知ること。「思考傾向」とは人により、同じ環境で同じものを見ても、そこから得る情報の取捨選択が違うというもの。視覚型(視覚からの情報に偏る)、聴覚型(理論性、聴覚からの情報に偏る)、体感覚派(場の空気、雰囲気などの情報に偏る)の3種類に分かれるということを学んだ。

「コミュニケーション」は思考傾向の違いを考慮したコミュニケーションが大切ということ。例えば、視覚型の相手からの質問に「目を見らずに答える」と、相手はとても嫌な気分になる。これは相手が視覚型であり、目から取得する情報が大きいことが原因。相手の思考傾向を把握し、接することが大切だということ学んだ。

以上のことから、私はまず将来に対しての「ビジョン」を持って、日々の業務や私生活においても、その「ビジョン」に向かって、頑張っていきたい。また、職場内に限定せず、人と接する際は、人によって思考傾向が異なることを念頭にコミュニケーションを取っていきたい。嫌な感じがしたとしても、相手の思考傾向が自分の思考傾向と違えば、その嫌なことは相手にとっては些細なことである可能性もある。当然、その逆もあるため、十分な注意や気配りが大切になる。私

## ☆第39回青少年指導者養成研修会(ライラ)報告

九州電力高鍋配電事業所 河崎 光生様

この度は榎木田智子講師による「人間力」をテーマにした指導者養成研修を受けてきました。研修会は様々な企業の方がいらしており、同年代の別企業の方と話しをする機会は今まであまり無かったので、この2日間の間いろいろな方々と話をする事ができたのはとても有意義なものでした。研修の内容については、会社生活の中でもこういった研修は受けてきましたが、いままで受けてきたものとは違い新鮮で興味の湧く内容でした。内容は主にリーダーシップの在り方やコミュニケーションの方法でしたが、特に私がこれからの会社生活で活かしたいと感じたことが2つありました。1つ目は「思考傾向」、2つ目は「サーバント・リーダーシップ」というものです。



1つ目の「思考傾向」というのは、人間の脳には癖があって人それぞれで物事の捉え方が変わり、それを利用して生産性を上げる、という考え方です。その思考傾向というのはどういうものかということ、例えば仕事の中で新しいアイデアをどんどん実践していくのを好む人がいる一方で、決められた時間に決められた事をする習慣的な事が好きな人もいるなど、ひとそれぞれで違いがあるということです。他によくある違いとして講義では、自分の事

からケアするのか人の事からケアするのか、物事を大まかに考えるのか一部分だけを細かく見るのか、自分の事は自分で評価するのか人からの評価を気にするのか、そういった違いがあると例に挙げていました。そして、その思考傾向という違いが仕事にどう影響するのかというと、講義では違う思考傾向の人間が多い職場のほうが成長すると仰っていました。似た傾向の人間が集まれば、居心地はいいかもしれないですが、考え方が一通りになりがちでリスクがあり、刺激することがなくなり成長しなくなってしまいます。違いがあるという事は、得意分野が違うという事であって互いを補い合う関係になれるという事でした。ただ気をつけなければいけないのは、考えが変われば誤解を生んでしまったり、ストレスとなってしまう事です。そうならないためにもその人の傾向にあった仕事をする事、コミュニケーションをとる時には相手の考えの傾向を読み取って相手を認めることが重要だと学びました。「十人十色」とはよくいいますが、脳の癖という切り口からの考え方で非常に納得がいて記憶によく残った講義でした。

2つ目は「サーヴァント・リーダーシップ」という考えです。「サーヴァント」という言葉は「奉仕する」という意味だそうですが、「リーダーが部下に奉仕する」という考え方を学びました。従来のリーダーシップは相手の上に乗って、相手を動かそうとするものでしたが、この「サーヴァント・リーダーシップ」というのは相手を支え思いやることで自立を促すというものです。今まで聞いてきたよくある話とは違って新鮮で感銘を受けました。私はまだまだリーダーシップというものを十分に理解は出来ていませんが、この講義で学んだことはリーダーの一つの在り方として将来のために活かしていきたいです。

特に印象に残ったのは以上の2つですが、他の内容も新鮮のためになるものでした。私はまだ20代ではありますが、将来を意識しはじめる歳になっています。今回の研修はそんな私に合っている内容でとても有意義でした。講義で学んだことはこれからの会社生活でぜひ活かしていこうと思います。

### ☆第39回青少年指導者養成研修会(ライラ)報告

黒木本店 黒木 匠様

1月28日～29日の二日間、青少年指導者養成研修会(ライラ)に参加させていただきました。テーマ「人間力」のもと、講師の榎木田智子氏の講話を中心に懇親会やビーチクリーン活動などを行いました。

1日目は、思考傾向についての講話をしていただきました。

思考傾向とは、物事の捉え方や好みなど脳のクセのことで、例えば、作業を順番通りに進めるのが得意な人、思いついたように進めるのが得意な人などその人によって違っていました。思考傾向が違う人同士が集まると、好みや



テンポが違うので気が合わなかつたりすれ違いが起きたりするという面がありました。しかし、それぞれ得意な事が違うので苦手なところをカバーしあえるという良い面もありました。榎木田氏は後者の組み合わせでないと会社は成長しないと話されていました。この話を聞いて、自分を振り返って見ると自分は「合わない」と感じた人とは距離を置く事が多くあると思いました。これからは、第一印象で苦手かもしれないと思ってももう少し自分から話をしていこうと思いました。

次に懇親会です。この研修が始まる時に私は多くの人と話すという目標をたてました。人見知りをしてしまい初対面の人となかなか話を弾ませる事が出来ないからです。でも、やはり研修が始まると自分からは話に行けず懇親会の時も1人でいることがありました。そんなときに周りの先輩方が明るく話しかけてくれて緊張をほぐす事ができ楽しい時間を過ごす事ができました。社会人の先輩の方々と話をする事で、働く上での楽しいこと苦しいことなどを聞く事ができいい刺激を得られました。

最後に、このような機会をいただきありがとうございました。今回の研修は2日間という短い日程ではありましたが、それ以上に得るものの多い、濃い研修だったと思います。この研修で学んだ事はすぐに実践できるようなことばかりだったので、どんどん今後の仕事や生活に取り入れていきたいと思っています。

### ☆第39回青少年指導者養成研修会(ライラ)報告

黒木本店 黒柳 喜直様

この度はライラ研修に参加させていただきましてありがとうございます。研修を終えてみるとあっと言う間の二日間で濃く貴重な時間を過ごすことができました。

今回の研修テーマは「人間力」。ストレスゼロ・トレーナー

の資格を持つ榎木田先生が脳の仕組み、体の仕組みを元に人とのコミュニケーションについてわかりやすく教えてくださいました。初めて耳にする言葉も多く、たくさん新しい知識を学ばせて頂きましたが、普段の自分の生活に落とし込んで考えてみると、腑に落ちることもあり、今後、自分が成長していく上で必要となる事柄も多くありました。

研修中、印象に残った言葉があります。

「人は皆、思考傾向が異なり、その人のもつ思考傾向によって得意な分野・仕事異なる。仕事においては自分の得意な分野は伸ばす。自分の不得意な分野や足りないところは、その分野が得意な人に補ってもらい。助けが得られない場合は不得意な分野をトレーニングしてできるようにする」思考傾向とはその言葉の通り、人が持つ物事の捉え方のクセの事で、その人の全ての行動に影響を与え、また人と人同士のコミュニケーションにおいて互いに影響しあうものです。また、人間の脳は一瞬の



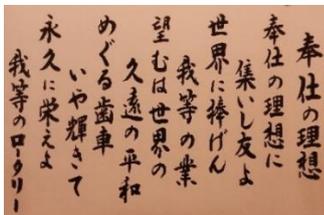
うちに7プラスマイナス 2の事柄を認識する事ができ、例えば10個の情報がその場にあった場合、どの事柄を脳が選り認識するのかはその人の思考傾向が影響を及ぼしています。先程の言葉は講師の榎木田先生が仕事での実体験で、一つの目標に向かってチームで取り組む時、他の人にヘルプを求めた事で、業務も円滑にすすみ、チームの一体感も増したと話されていました。最初は、自分で解決せず人に頼る事は、社会人としてあまり良くない事で、自分で不得意な分野のトレーニングを積む方が先ではないかと思いました。しかし、「私たちの生産性が伸びるのは、その人の思考傾向に最も合った働き方ができている時。それであれば、各々が得意な分野を伸ばし、各々が不足分野を補い合う方が、組織として生産性が高く、お互いが奉仕する姿勢を持つ事ができる」と聞いて納得がきました。「人という字は人と人が支え合っていてできる」という金八先生の有名な言葉がありますが、先生の話聞いて、周りの人に助けを求める事は悪い事ではないと感じるとともに、そのためには自分の得意分野を伸ばし、周りの人の助けになれるような人として成長したいと思いました。また、叱られ方、褒め方のコツもとても参考になりました。僕は、嫌なことがあってもあまり長く引きずることはありませんが、叱られた後などは、自分の何が悪かったのかとずっと考えてしまうことがあります。先生の話では、叱られた時、自分の人格に結びつけて受け止めるのではなく、自分のどの行動に対して相手が叱ってくれたのかを考えることが大事とのこと。そうすることで、自分の中でいつまでも引きずることはなく、また相手が指摘してくれたことを改善できると学びました。また、褒める時は、実際に目に見えた行動をすぐその場で相手に伝える。何かをしなくても相手が自分にとって尊い存在であるということ伝えることが大切です。

4月には新しく社員も増え先輩として後輩を指導していく場面もあると思います。その時には今回学んだ事を糧により良いコミュニケーションを意識しながらチーム全体に貢献できるよう努めてまいります。

研修1日目の夜には懇親会があり、研修中には話す事のできなかつた方たちと仲良くなり、お会いしてまだ間もないですが、2次会、3次会と皆で楽しい夜を過ごしました。年齢も近く、盛り上がり、最後には連絡先を交換するなど、2日間の研修の中で多くの事を学び、新しく共に頑張る仲間もできました。

この貴重な体験を胸に、今後も「人間力」に磨きをかけられるよう努めてまいりたいと思います。

.....



雑誌紹介 橋口清和君



クラブ研修 池部文仁君



親睦活動委員長 桑野倫夫君



青少年委員長 藤本範行君

■BOX披露 親睦活動副委員長 青木善明君

<ニコニコ・財団・米山BOX>

松尾正博君 本日はライラの報告を黒木本店、九州電力の4名の方へお願い致しました。藤本先生2日間ご苦勞様でした。

桑野倫夫君 二週連続欠席のお詫びとして。

石田喜克君 第10回高鍋ロータリーカップミニラグビー大会お疲れ様でした。高鍋ロータリークラブに大感謝！来年は1月28日開催となります。

藤本範行君 ライラに4人の青年と参加してきました。内容が充実しており大収穫でした。今日の報告を楽しみにしています。

青木善明君 結婚記念日のお祝い有難うございます。ロータリーに入会して毎年こうしてお祝いして頂く事に感謝です。長い長い人生の中での夫婦で年輪を「記念日なんだ！」と気持ちの意識をもたされます。福岡生花店のこの品を又喜ぶ妻の顔が浮かびます。

甲斐英治 お祝いのお返しとして。

多賀学昭君 12月の川南モーツァルト音楽祭成功に終了しました。お世話になりありがとうございました。



■出席報告 出席委員長 長野孝吉君

出席報告 (2/2)

会 員 数	45名
出席会員数	38名
ホーム出席率	84.44%
前々回修正出席率	84.44%

